



広報うらにし 9月号



第 187 号
2018 9月1日
発行：浦西自治会
編集：自治会広報部

・運玉森ハイキング 11日

四度目の挑戦で達成。寿 Jr で昨年計画したものの、雨、台風で 3 度断念。「運玉ギルーが、浦西は来るな」と言っていると言われていた。今回は台風接近で晴れ間を縫っての挙行。風が強く今にも泣きだしそうな低い灰色の雲の立ち込める中、不安を抱えながらの一步。約 1Km を歩き、急峻で草の生い茂る狭い山道に差し掛かったら大粒の雨が降ってきた。泥道のぬかるみを這い登って踏破。360 度の絶景パノラマが疲れを癒してくれた。好評につき、再度企画します。乞うご期待！



14 名が参加

・まちづくりプラン賞応募結果

残念ながら、自治会、青年会とも入選が叶いませんでした。両団体とも 100 万円コースに応募したものの、市全体に及ぶ活動ではないという点で落選の憂き目にあいました。それでも、取り組みは高い評価をうけたので安堵しています。因みに入選は「バリアフリーオリンピック」「小湾川沿いにチョウを飛ばす」「自治会加入率を高める」活動でした。素晴らしい取組であつた！

11日 プレゼン会場



自治会は公園に健康器具設置費用捻出



青年会は文武祭費用捻出

行政区住民登録人口（8月末）

世帯数 680 総人口 1726
自治会加入 407 加入率 60%

定期清掃（第3日曜日） リサイクル活動（同上）

9月行事

* 図書丸来館 2, 16 日

9 日 自治会敬老会
10 日 社協・地域懇談会
13 日 がんじゅう祭り
16 日 定期清掃
22 日 消防・防災訓練
30 日 評議委員会
班長会



消防訓練・防災訓練

災害に備える訓練です。多数の会員が参加されることを期待しております。「備えあれば憂いなし」です。

・夏祭り 8月18日（土）

毎年恒例ではあるものの、毎回いろいろ変化があり楽しい祭りになっています。何より嬉しいのが若者、子どもが増えたことです。1 号線を封鎖して広場を広げ、テラステーブルでくつろぎ、花火も打ち上げ、福引抽選会でクライマックスを迎えました。会員はじめ関係業者からの寄贈・寄付で費用もまかない、感謝に絶えません。また、当日は早朝から、評議委員、班長、青年会、有志の方々が会場設営に協力して大変助かっています。翌日も会場の片づけまで協力いただき無事に終わることができています。皆さんの協力で成り立つ「地域の祭り」です。



・夏休みラジオ体操 終了 22日（水）

夏休み風物詩、ラジオ体操が終わりました。子ども育成会が中心となって運営し、金曜日にはお楽しみの「チューチュー」で喜ばれました。ラジオ体操会のメンバーも含めて 100 名ほどが集まり爽やかな朝を迎えました。皆勤賞が 6 名いて賞状とお菓子をもらいご満悦でした。



・敬老会 9日 正午～

高齢者の健康長寿を祝うとともに、これまでの貢献に対して感謝する敬老会。75 歳以上を招待し、一般会員とともに昼食を食べながら楽しいひと時を過ごしましょう。今回も、面白い余興、フラ、エイサーで盛り上げます。



昨年度の様子

・評議委員会だより 29日（日）

議題

1. 夏祭りの総括
2. 敬老会の取組
3. 自治会会員見守り案
高齢化率の高い浦西は今後 10 年厳しさの増すことが予測され、お隣近所で見守りできないか検討中です。



報告事項 抜粋

- ・市老連ボウリング大会 15 日 マチナトボウル
団体 浦西寿クラブ A：優勝 B：5 位
個人 女性 優勝：田仲末子 3 位：長谷川弘子
男性 2 位：高良茂光
- ・自治会対抗卓球大会 19 日
浦西自治会 団体 4 位

・認知症を学ぶ 10日 午後2時～

浦西公民館で認知症の特徴や支援の在り方などについて学ぶ講座を開催した。地域の高齢者ら約 40 人が参加した。自治会のメンバーや浦西中学校の生徒らが寸劇を通して、認知症の特徴や周囲の対応などについて紹介した。名護校長先生も駆けつけ生徒を激励。高齢化社会の中で、認知症への対応が求められている。行政だけに頼らない福祉のまちづくりに向け頑張りましょう。



・ネパールだより E-53 坂本守章 …ネパールは祭りのシーズンを迎えます…

ネパールはガイジャトラ（日本のお盆）、ティージ（女性のための祭り）、ダサイン（年間で最大の祭り）、ティハール（水祭り）と祭りが続きます。職場でもダサインの話で会話が弾んでいます。ネパールは隣国のインドと同様に「ヒンズー教」の国です。国民の約 8 割がヒンズー教徒で占め、残りの 2 割が仏教、キリスト教、イスラム教徒です。10 年前までは国の宗教（国教）でしたが、現在は国教は廃止されています。

ヒンズー教と言えば、即座に牛を大切に思う宗教と思いがちだと思います。私の住んでいるボカラは首都のカトマンズより路上の牛（野良牛：ほとんどが雄牛）は多いように思います。私は大切にしていると言うよりは「生活の糧にならないからほったらかし」と思います。至る所に牛糞が散在し、夜間は歩くのに気を遣います。牛とは違い、水牛は生活の糧となり大切に扱われています。特に、雌牛は「バイシ」（写真 1）と呼ばれ、ミルクを生産し、このミルクからヨーグルト、ギュー（バター）、パニール（豆腐に似ている、揚げると美味しい）が作られます。水牛ミルクは牛乳に比べて 2 倍ほどの価格で、ほとんどの農家が堆肥原料にバイシを飼育しています。

私は職場のキャンティーン（小さな食堂）の方からヨーグルトの作り方を教わり、自家製のヨーグルト（写真 2）を朝食にしています。作り方は至って簡単、とろ火でミルクを温め、沸騰したら火を止めます。あまり沸騰させると乳成分が凝固して良いヨーグルトが出来ません。冷めると専用の土器（安くて販売されています）に移し替え、種菌（市販のヨーグルト）を入れ、攪拌して室温で凝固するまで置き、その後、冷蔵庫に入れます。1 回の量が 1.5 リットル（180 円）で 1 週間分あります。この水牛、ネパールでは牛と扱われて無く、肉は食用にします。このため、雄牛も飼育され、水牛肉として販売されています。ネパールの人達と議論すると一致しません、おかしいと思いませんか？ フェリ ベトーラ （またね…）



*リサイクル収益金

8 月末実績（累計）
99,128 円

毎月第3日曜日

収益金は自治会活動費として有効に活用されています。今後とも、新聞、段ボール、アルミ缶などの提供にご協力をお願いします。



・お願い ポストの設置

自治会からの広報や市からの情宣物を配達して困ることが、ポストが破損して投函すると裏から抜け落ちることです。雨降りには最悪で濡れてしまいます。ポスト自体無いところもあり、屋敷内に入り込むことがあります。郵便配達人もさぞ困っていると思います。ちょっとした手入れや買換え等で設置を切に望みます。

